

製品

御社で製作している主力製品についてお聞かせ下さい

河野社長 タイヤサービスカーや起震車など、最近では機器メーカーとタイアップした車両が多いですね。

これまでの製作車両の中で、印象に残っているものはありますか？

30年くらい前になりますが、側面開放出来るアコーディオントップ車両を当社のオリジナルで製作していました。小口配送に便利だとお客様からも人気で、一時はメイン車両でした。

アコーディオントップ



側面全体がカーテンで覆われている。小口配送に用いられる



稼働中のカチオン電着塗装。自動車部品のみならず、異業種の塗装注文も受ける



従業員の平均年齢は42歳ほど。各工程でも慣れた手つきで作業する若い人が多い

最近では、税関仕様の検査測定車などがあります。港や空港などに待機して輸入品のチェックなどに使用され、武器や麻薬の密輸発見などに活躍しています。

設備の中で特徴的なものはありますか？

設備ではないのですが、当社は3工場あり、それぞれに特徴が違ってきます。この東部工場は、一品架装物がメインで、カチオン電着塗装工程も備えています。

検査測定車

航空関連会社の依頼で製作したのが最初で、どこでも行けるよう、全体がコンパクトに出来ている



タイヤサービスカー

ワイドキャビンには、タイヤ交換に必要な道具が積まれている。サイドにはジャッキ入れも付いている



人

従業員の特徴は？マニュアル化した品質管理も大切ですが、当社では各作業者が社会的責任を自覚し、それぞれが得意とする作業をひとつひとつ確実にこなしていくことを大切にしています。

そこでゆっくり時間を掛けて仕事を覚えるということを取り入れ、ローテク、ロースピードに信念と自覚を持って、仕事をこなしています。その結果、小さな職人集団でも、社会に押しつぶされない技能、技術を持っていると思います。

広島市西区にある西部工場はミニ量産を、茨城にある関東工場は、営業とサービスの拠点であり、自社向けアフターフォローの役割を担っています。

御社のモットー、今後の抱負などをお聞かせください。

「社会変化は大きく変わっても、物づくりの原点というのは、昔とそう変わらない」を信念に、才能の有無を問わず、地道に辛抱強く仕事に取り組める人材を大切にしたいと思っています。

NET WORK

会員会社紹介 Vol.52

個性的な特種車両の製作で 広く社会に貢献

広島駅からJR呉線で約15分、矢野駅に到着する。そこから車で5分ほど、広島湾の埋め立て地にある流通工業団地と呼ばれるところに、今回訪問した東部工場があった。

取材 / (社)日本自動車車体工業会 事務局次長 瓜谷優一

株式会社 河野ボデー製作所

DATA

東部工場
広島県広島市安芸区矢野新町
2丁目3-57
TEL 082-885-1411
FAX 082-885-2270
資本金 3000万円
従業員 95名
事業所規模
本社工場 約3,300㎡
東部工場 約5,200㎡
関東工場 約4,300㎡
車体工業会加入
1979年(特種部会)



代表取締役
河野 征夫

特徴
沿革

広島市内に本拠地を置く(株)河野ボデー製作所は、1953年の創業から今日に至るまで、特種車両の製作に力を注いでいる。創業当初は、専用荷台、特殊ボデー、幌架装などを行っていたが、1963年に広島大州に大州工場を開設すると、(株)広島マツダの指定工場となり、二次架装などで事業展開を始める。これにより(株)広島マツダをはじめとする全国のマツダおよびマツダ系ディーラーからの特殊架装を受注することになる。

このマツダ系ディーラーとの関係は、特種車両製作の技術向上だけでなく、どんな要求にも応えられる人材育成へと繋がっていく。特にディーラーの営業マンには、

営業のマニュアル化が進む今日、臨機応変にお客様の相談に乗れる河野ボデーの社員は欠かせない相談役になっている。

1972年に大州第2工場を増設するが、1986年に第1、第2工場を合併し現在ある東部工場を開設する。マツダ扱いの特種車両の架装受注は、東部工場の開設後も拡大を続け、多様なニーズに応えるために技術・技能向上も図ってきた。そんな中で生み出されてきたのが、アコーディオントップや図書館車であり、現在の起震車、タイヤサービスカーなどである。

1993年に東京立川に関東工場を開設、1997年には東部工場にカチ

オン電着塗装工場も建設、スチールバン等の板金架装にも対応できるものとなった。

最近の10年ほどはマツダ以外のメーカーの仕事も受注し、更なる業務拡大に励んでいる。河野社長は、「工場の開設も設備の導入もいろいろきっかけがあって、ここまでやってきた」とこれまでの振り返り。そこには人と人とのつながり、お客様のニーズに応える技術があり、今日へとつながっている。

